

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察施設費

事業名 施設改修費（犯罪被害者支援）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 刑事部 捜査第一課 電話番号：058-271-2424（内4111）

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 65,992 千円 （前年度予算額： 73,036 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	73,036	0	0	0	0	0	0	54,500	18,536
要求額	65,992	0	0	0	0	0	0	49,400	16,592
決定額	65,992	0	0	0	0	0	0	49,400	16,592

2 要 求 内 容

（１）要求の趣旨（現状と課題）

検視室未整備の警察署に検視室を整備するため必要となる経費を確保する
 検視室の整備されていない警察署では、車庫の一角を使用するなどして検
 視を行い、同所で遺体を保管している現状であり、適正な遺体取扱及び遺族
 感情に配慮した対応、衛生管理面等から検視・霊安室の整備が必要である。

（２）事業内容

現在検視業務を行っている車庫等を改修し、検視室等を整備する。

（３）県負担・補助率の考え方

県内で発生する犯罪等に対する捜査活動及び被害者（遺族）対策の一環で
 あり、国の治安対策に資するものであること、またほかの国庫補助対象事業
 と同等の割合で国庫を充当しており、県負担は妥当である。

（４）類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	281	事務費
委託費	9,680	設計・工事監理費
工事請負費	56,031	改修工事費
合計	65,992	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

各種計画での位置づけ・関係法令

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ－２－（２）－⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

○ 社会・経済の変化を反映した新たな犯罪への対策を強化する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

客観的証拠に基づく捜査の推進、犯罪死の見逃しの絶無を強固に推進していくため、全警察署に検視室等を設ける。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 4月実績	終期目標 (R9)	達成率
① 検視室等を 有する警察署数	10	15	17	18	22	81.8%
② 死体取扱体数		2,579				

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	1 警察署の検視室を整備した。検視室を整備することにより身元確認や遺体引き取り等の各手続きも容易となり、遺族の負担軽減など感情に配慮した対応が可能になった。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	2 警察署の検視室を整備した。検視室を整備することにより身元確認や遺体引き取り等の各手続きも容易となり、遺族の負担軽減など感情に配慮した対応が可能になった。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和7年度	2 警察署の検視室を整備予定。捜査の質の向上、被害者遺族の負担軽減等のみならず、感染症予防、公衆衛生の向上などにも考慮した施設整備を進めていく。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	適切な遺体取扱及び遺族感情に配慮した対応は必要である。コロナ禍収束後も感染症等対策は必要であり、事業の必要性は高いままである。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	令和9年度に全警察署への整備を達成するため計画的な予算執行を進めている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	整備警察署、装備施設課などとの協議の上、過不足なく施設整備を進めている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 人件費、材料費の高騰により必要となる予算が増大している。今後も整備警察署、装備施設課などとの協議の上、過不足なく施設整備を進めていく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 未整備、整備済み問わずすべての警察署において、その能力を十分に発揮できるよう施設機材の維持管理に努め、計画的に整備計画を進める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	